

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	たいむ		公表日 令和 7 年 2 月 28 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	79%	21%	個別や集団での活動や取り組みに合わせて、スペースの有効活用できるよう努めている	利用人数に対してもう少し広いスペースが必要。利用定員が多く感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	29%	71%	1対1で対応が必要な利用児童も含めて、安全に見守りができるよう人員配置やサポートを心掛けている	職員の業務や利用児童の状況によっては配置不足な場面あり。職員が少ない時はじっくり利用児童と向き合い寄り添う時間が少ない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	93%	7%	車いす利用者も安全に移動できるよう段差なくバリアフリーとなっている	写真カードなど、もっと利用児童たちが自発的に使えるようツールの数や場所を増やす
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	93%	7%	毎日掃除や次亜塩素酸消毒を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別に過ごすための空間や部屋を準備している	個室が少ないと感じる
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	79%	21%		質の高いミーティング内容と感じるが、一部できていないこともある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	イベントや活動後にはアンケート調査を行っている	職員が各々の考え方で行動している場面があり、共有の機会が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	43%		第三者による外部評価機能について学ぶ機会を設け、業務改善への取り組みにつなげていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	93%	7%	研修受講後は伝達、共有できるよう努めている	支援方法に関わる研修はもっとあってもよい
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	93%	7%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	93%	7%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	86%	14%	定期的なミーティングにて職員間で周知できるよう努めている	すべての状況を共有できていないこともある
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	79%	21%	各職員がいつでも個別支援計画の内容を確認できる状態であり、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいる	職員への周知が不十分な面もあるので、確認の工夫を重ねる
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%	利用児童の様子を記録し、情報共有している	標準化されたツールが未完成である。インフォーマルはあるが、フォーマルはない。SDQ（子どもの強さと困難さアンケート）など活用していったら良いのではないかと
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	86%	14%		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	79%	21%	毎月の活動内容が重ならないよう計画立案を行っている	利用児童やご家族の評価を捉え、活動プログラム立案を工夫していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	93%	7%	制作や散歩、クッキングなど個別活動と集団活動を組み合わせ支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼やミーティングにて当日の予定確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	64%	36%	活動やイベント後には振り返りを行うことで、支援の見直しを行っている	次に活かすための振り返りの内容が不足している場面もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	日々の支援や気づきについての記録をとり、支援の検証や改善につながるよう努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的な面談を通して情報共有を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	86%	14%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	利用児童が望んでいるものを絵カード等を活用しながら聞き出し、自己決定を促している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	93%	7%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて電話連絡等を行いながら、送迎時間の間違いが起きないように努めている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	93%	7%	必要に応じて情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	終了時評価等、情報提示できるよう準備を整えている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	86%	14%	同一敷地内の児童発達支援センターとの協力し、研修機会を設けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		利用児童やご家族の意向を確認し、地域のこどもたちとの活動を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	71%	29%	協議会主催の研修会や会議への参加を行っている	協議会参加の内容を職員で共有する機会を設け、意見を反映できるよう取り組む
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳だけでなく、送迎の際に当日の様子や近況を報告、共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		職員の技術や知識の拡充が必要。研修や勉強会にも取り組んでいく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	86%	14%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	年に2回の個別面談、必要に応じて担当者会議を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	21%	79%		家族が交流できる機会や行事の企画ができていない。ニーズを確認し、活動を広げていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報に記載された書類はシュレッダー処理する等、取り扱いに注意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	93%	7%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	64%	36%		地域住民やボランティアが参加できるイベントや企画を検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	79%	21%	定期的に訓練に取り組んでいる	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーに関する一覧表を作成し、確認できるようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	委員を中心に共有、振り返りを行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		